

富永峻のピアノ演奏を聴いたことがありますか？
磨き抜かれたテクニックで真摯にアカデミズムを追究し
時には暖かく、時には情熱を帯び、時には透明な光のように、、、
高度なポリフォニーにピアノソロのダイナミクスと繊細さが現れる。

2017年、最上のピアノと音響を有する sonorium で CD を録音。
待望のデビューアルバムが珠玉の1枚として完成した。

CD タイトルはヨーロッパの音楽教育を受けた富永峻を象徴する
『EUROPEAN HERITAGE(ヨーロッパ芸術の正統)』。

ソロリサイタルシリーズ vol.4 は『sonorium 後援 CD 録音リリース記念』として
収録曲「展覧会の絵」に加え、スクリャービン、バラキレフ作品を取り上げる。

ロシア系ピアニストに師事して磨かれた、超絶の技巧と表現が展開される。

sonorium の空間の醍醐味のひとつ、プロジェクターを使う手元映像付きの演奏も。

sonorium 後援 CD 録音リリース記念リサイタル

ヨーロッパが育てた日本人ピアニスト

デビューアルバム『EUROPEAN HERITAGE』

SHUN TOMINAGA in sonorium vol.4

「展覧会の絵」 ロシアの調べ

PROFILE

富永峻はポルトガル、スペイン、ドイツで育った日本人ピアニスト。音楽高校(スペイン)在学中より数々の国際コンクールに入賞。マドリード王立音楽院時代には2年間、コンクールの副賞としてスペイン各地でソロリサイタル・室内楽コンサートを開催。その後ドイツ・フライブルク音楽大学に進みエミール・ギレリスの直弟子フェリックス・ゴットリーブに師事。同大学ソリストクラス(修士課程)を卒業。ドイツでも国内ツアー、オーケストラとの共演など幅広く活動。2010年帰国後、「日本人でありながらヨーロッパの音楽教育の中で育てられた異色のピアニスト」として期待を集め、2014,15,17年東京オペラシティリサイタルホールにてソロリサイタル。2016年からは年2回、今回のCD録音も行った音響に優れた小ホール sonorium でソロリサイタルシリーズを開催。また、オペラ伴奏、室内楽、コンチェルトにも高い評価を受けている。卓越したテクニック、ヨーロッパでの豊かな音楽経験が授けた多彩な音色表現、完成度の高いポリフォニーは「今後のピアノ界において貴重な存在」と評される。